

# 令和4年度文部科学省委託事業 「学校における男女共同参画研修」実施報告について

国立女性教育会館

国立女性教育会館（NVEC）では、文部科学省委託事業「女性の多様なチャレンジに寄り添う学びと社会参画支援事業（学校教育分野における女性の意思決定過程への参加（普及啓発事業）」を受託し、令和4年11月14日（月）～令和5年1月20日（金）に「学校における男女共同参画研修」オンデマンド研修を実施し、1月20日（金）に全国フォーラムを開催しました。

本研修は、教育長、教育委員、教育委員会や教育センターの職員、学校の管理職等が、学校における男女共同参画に関わる現状・課題を把握し、女性の管理職登用促進や教職員のキャリア形成支援等の意義・必要性について理解を深め、地域の実情に合わせた課題解決の方策を検討することを目的に開催し、オンデマンド研修には142名、全国フォーラムには289名が参加しました。

オンデマンド配信による講義・パネルディスカッション・事例紹介のほか、ライブ配信によるワーク、全国フォーラムといったプログラムを提供し、講師への質問や参加者同士の意見交換などの学びを深められるようにプログラム構成を工夫しました。

オンデマンド配信では、山形大学教授 河野銀子氏による「ジェンダー平等に向けた学校教育の役割」、静岡県立大学教授 犬塚協太氏による「男女共同参画をめぐる社会の変化と学校における新たな管理職モデルの必要性」をテーマとした講義がなされ、参加者は、学校現場における管理職として必要なジェンダーの視点を学ぶとともに、「なぜ今、女性の管理職登用の促進が必要なのか」「学校における組織の改革や人材育成という課題に対して今後どのように取り組んでいけばよいのか」等について検討を深める機会となりました。

そのほか、パネルディスカッション「多様な人材が力を発揮できる職場環境づくり」では、企業や教育委員会等における組織マネジメントや女性のキャリア形成支援に関わる事例をとおして、多様な人材が力を発揮できる職場環境づくりについて理解を深め、キャリア事例紹介「“ロールモデル”をもとに考える女性のキャリア形成と必要な支援」では、ロールモデルの語りを基に、これからの女性の人材育成において必要な支援や視点について考えました。

ライブ配信によるワーク「事前学習をもとにした情報交換」及び「性別に基づくアンコンシャス・バイアスへの気付き」では、参加者が事前に記入した各地域における実情に関するワークシートや、令和2年度の文科省委託事業の一環としてNVECが作成したケース動画を基に、参加者同士の意見交換を行いました。参加者からは、「他の都道府県の現状や様々な立場の方の考え方をとおして、ジェンダー課題を自分の問題として引き寄せて考えることができた」等の声がありました。

最終日に行われた全国フォーラムでは、筑波大学教授 山口 香氏による基調講演にて、組織としていかに女性リーダーを育成し、どのように登用につなげていけばよいのか等について、専門であるスポーツ分野での御経験から、教育分野にも共通する考え方や事例が紹介されました。その後の事例報告では、教育委員会や女性のネットワーク組織から、各地域における女性の管理職登用の促進に向けた取組実践について報告がなされ、働き方改革や女性のキャリア形成支援の在り方について具体的な方策を探る機会となりました。テーマごとに分かれて行った分科会では、女性の管理職登用にに向けた各地域における今後の取組等について参加者同士で意見交換を行いました。参加者からは、「様々な地域の課題や取組について直接声を聞いたことが刺激になった」「新たな視点を獲得することができた」という声

が寄せられました。

なお、本研修の中から、事例を中心に一部抜粋し編集した資料集を発行しましたので、御参照ください。

資料集は、以下の QR コードから御覧いただけます。

<https://www.nwec.jp/research/teacher.html>



全国フォーラム 基調講演



全国フォーラム テーマ別分科会